

藤沢市地球温暖化対策実行計画の進行管理について

目標達成率の算出方法について

- ①(B2021実績-A現状値2018)/(C目標年度2030-A現状値2018)
- ②(Y2023実績-X現状値2020)/(Z目標年度2030-X現状値2020)

- 【評価例】A: 前年実績を上回り、現状値以降は順調に推移、目標値をクリア
- B: 前年実績を上回り、現状値以降は前進、目標値クリアに近づく
- C: 前年実績と同様で、現状値以降は前進
- D: 前年実績を下回り、現状値以降は後退

資料1
2024年10月15日
藤沢市環境審議会 報告1

(1)令和5年度実績報告

基本方針	指標項目	担当課 (単位)	目指す 方向性	2018	2019	2020	2021	2022	2023	評価	2030 目標年度	R5(R3)-現状値 / 目標-現状値 目標達成率
				H30	R1	R2	R3	R4	R5			
基本方針1	家庭部門における一人当たりの電力使用量	環境総務課 (kWh/人)	削減	1,731	1,707	1,942	1,577	1,601	1,568	A	1,340	△ 154 / △ 391 39.4%
	業務その他部門における延床面積1㎡当たりのエネルギー使用量	環境総務課 (MJ/㎡)	削減	1,895	1,903	1,758	1,838	1,622	1,554	C	1,077	△ 57 / △ 818 7.0%
省エネルギー 対策の推進	「藤沢市環境保全職員率先実行計画」における温室効果ガス排出量(2013年度(平成25年度)排出量:52,288t-CO2)	環境総務課 (t-CO2)	削減	-	-	39,671	41,346	40,684	36,214	B	23,216	△ 3,457 / △ 16,455 21.0%
	太陽光発電システム補助件数(累計)	環境総務課 (件)	増加	-	-	2,767	2,875	2,954	3,030	C	4,117	263 / 1,350 19.5%
基本方針2	太陽光発電システム補助による導入容量(累計)	環境総務課 (kW)	増加	-	-	10,889	11,382	11,778	12,171	C	16,208	1,282 / 5,319 24.1%
	再生可能エネルギー導入容量(累計)	環境総務課 (kW)	増加	-	-	48,141	50,339	53,127	58,260	C	115,254	10,119 / 67,113 15.1%
エネルギーの 地産地消	自転車専用通行帯の整備距離(累計) ※1	道路整備課 (km)	増加	-	-	3.60	4.37	4.37	4.37	C	19.30	0.77 / 15.70 4.9%
	市域の緑地確保 ※2	みどり保全課 (%)	増加	-	-	25.1	25.1	25.0	24.7	D	29.0	R5-現状値 / 目標-現状値 △ 0.4% / 3.9%
環境にやさしい 都市システムの 構築	市民一人当たりの都市公園の面積 ※2	公園課 (㎡)	増加	-	-	5.33	5.30	5.34	5.41	B	9.00	0.08 / 3.67 2.2%
	有機農業の取組面積	農業水産課 (ha)	増加	-	-	19.7	23.4	25.5	30.2	B	81.8	10.5 / 62.1 16.9%
基本方針4	市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量 ※3	環境総務課 (g/人・日)	削減	-	646	654	631	611	583	A	612	△ 63 / △ 34 185.3%
	一般廃棄物の資源化率 ※3	環境総務課 (%)	増加	-	32.3	33.7	33.2	32.4	32.7	B	35.0	R5-現状値 / 目標-現状値 0.4% / 2.7%
循環型社会の 形成	灰溶融等資源化を除いた一般廃棄物の資源化率 ※3	環境総務課 (%)	増加	-	24.2	25.8	25.3	24.6	24.5	C	25.0	R5-現状値 / 目標-現状値 0.3% / 0.8%

各年度の目標値(目安)は、バックキャストिंगにより設定しました。

※1 自転車専用通行帯の整備距離について、2020年の現状値3.60kmに「ふじさわサイクルプラン(実施計画)R5.4月改定」期間中に整備予定の15.70kmを加えた19.30kmを2030年度の目標値とした。

※2 緑の基本計画(計画年度2000-2030年度)において10年ごとの目標値を定めており、2030年度目標値は同計画と同じとした。

※3 藤沢市一般廃棄物処理基本計画(2022-2031年度)では、2019年度を基準年度として2031年度の目標値を定めている。2030年度目標値は同計画の2031年度目標と同じとした。上表の目標達成率の計算式は2019年度を基準年(現状値)として算出。

温室効果ガス 排出量 (2021年度速報値)	部門 (単位:千t-CO ₂)	2013	2018	2019	2020	2021	評価	2030 目標年度	基準年度比
		(基準年度)	(計画策定時)	R1	R2	R3			
二酸化炭素	産業部門	943	828	822	808	834	2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、【産業部門】や【その他部門】では、需要の低迷や、施設や催物の稼働率低下等により排出量が共に減少する一方で、【家庭部門】では、テレワークや巣ごもりなど家庭で過ごす時間が増えたことから排出量は増加しました。 2021年度は「まん延防止等重点措置」への移行など日常を取り戻し、【産業部門】【業務その他部門】は、経済活動が回復し増加に転じた反面【家庭部門】は減少。【運輸部門】は、宅配サービスの利用増加の影響が平均燃費の改善効果等を抑え結果として微減となりました。 全体では、新型コロナウイルスの影響があるものの、省エネ対策や、グリーンエネルギーへの転換が進んでおり、排出量は減少傾向にあります。	526	-11.6%
	業務その他部門	835	633	628	574	615		371	-26.3%
	家庭部門	565	494	510	527	482		265	-14.7%
	運輸部門	404	378	365	335	332		307	-17.8%
	廃棄物部門	30	38	42	35	42		34	41.3%
	小計	2,777	2,371	2,368	2,279	2,305		1,502	-17.0%
メタン	1	1	1	1	1	1	1	-0.3%	
一酸化二窒素	5	5	5	4	5	5	5	-1.6%	
合計	2,783	2,377	2,375	2,285	2,311	1,508	-17.0%		
		基準年度との差	△ 406	△ 408	△ 498	△ 472			
		基準年度比	-14.6%	-14.7%	-17.9%	-17.0%			

※ 端数処理により合計等と一致しない場合があります